

インディー本の取り扱い・こだわり出版・ギャラリーの店シカクのフリーペーパー

シカク月報 | 2023年 10月

酩酊 酒の穴
対話集

Extra Plain エクストラプレーン

パリッコ・スズキナオ presents

酩酊 酒の穴
対話集
Extra Plain
エクストラプレーン

最高峰とみせかけた金瓶梅。
ディストピアと化した現代を
コートリアにする方法が詰まっている。
—— 満球とるる(漫画家)

パリッコ氏やスズキナオ氏が持つ魂気。
その欠片でも自分にあれば
別の人生だったと思う。
—— せきしろ(作家、旅人)

酔ったふたりが、
喋るだけ。

酒の穴
エクストラプレーン

酔ったふたりが、
喋るだけ。



ついに
発売!!

出版のおしらせ

酩酊 酒の穴
対話集

Extra Plain エクストラプレーン

10月1日(日) 発売!!
1,100円(税込)



「チェアリング」という活動を生み出し、いまやテレビ、ラジオ、雑誌、ウェブメディアなどには欠かせない存在となったスズキナオとパリッコが、前作「酒の穴」に続き、無益に飲み語る。

読んでもまったく身にならない、ただひとり酒の時間が少しだけ豊かになる、酩酊対話集第二弾。



展示のおしらせ

Saki Morinaga "PUZZLE"
Solo Exhibition



2023 10/7 sat - 10/22 sun

シンプルながらシュールで個性的なイラストで
様々なメディアで活躍中のイラストレーター
Saki Morinagaの個展"PUZZLE"を開催します!



出展のおしらせ

IN/SECTS presents

KITAKAGAYA FLEA 2023 AUTUMN & ASIA BOOK MARKET



キタカガヤフリー 2023 オータム & アジアブックマーケット

10.28(sat) — 29(sun)

@CCO クリエイティブセンター大阪
(大阪市住之江区北加賀屋 4-1-55) 各日500円

「KITAローカル・カルチャーマガジン「IN/SECTS」を
発行するLLCインセクト主催のマーケットイベント。
インセクトが雑誌づくりを行う中で出会ったさまざま
な生産者、アート、デザインなどの表現、また、もの
づくりに携わる作家、アーティストが一堂に会した
イベントにシカクも出展します。



死ぬ時に棺桶に入れてほしい本

専門学生時代の話。電車通学で、片道1時間の道をいつも漫画「美味しんぼ」で過ごしていた。なぜ「美味しんぼ」なのかと言うと、毎日何を持っていくか考えるのがめんどくさかったので、当時70巻以上発刊されていたという理由で選んでいたと思う。ルールは1巻から順番に持っていき、当時の最新巻まで達すると、また1巻に戻って持っていくという手法だ。1話完結型が多かったのもまた良い。学生生活4年間で何周もしたその中でも1冊だけ棺桶に入れるなら11巻だ。この巻に収録されている「トンカツ慕情」がファンの中でも神回とされており、自分も大好きだし、何度読んでも胸がジーンとする。ジーンとは言っているが最初の頃は、電車の中で泣いていた。若い男性が電車の中で美味しんぼを読みながら泣く姿は、周りからすればどのように見えていたか、今更ながら恥ずかしいな。少しでも気になる方は手に取って欲しいので内容には触れないですけど、このコラムがきっかけで読まれた方は美味しんぼトークでもしませんか。

そんな本を棺桶に入れるとなると、当然あの世へと持っていけるんだろうな。

片道何時間かかるかわからない。冥土に行く途中を「美味しんぼ」で過ごせたらいいなと思った。

TONKATSU



+++++

ピロくん

普段から何をしているかわからない、ミニコミ書店「シカク」のスタッフ。元モーニング娘石川梨華ファンサイト管理人、メロン記念日のライブもほぼ参戦。過去についてはあまり語りません。

本の売上ランキング



2023年8月分 (ZINE・出版物の販売数)



さくらいみか
ダメな園芸



ジョージ+麗日
町山智浩とライムスター宇多丸は、
映画語りをどう変えたのか？(前編)



スカッシュ
美味しんぼの話をさせて！ 2



Towers
地下街への招待 B2 (特集：元町有楽名店街)



漫画の手帖
漫画の手帖 TOKUMARU28号



369days
ミニトレインコレクション



一口坂食堂
それいけ！ あんばん本



ムサシノ工務店
昭和街道 5 旧市街は誘う



おしどり浴場組合
銭湯生活 (2)



スギモトマユ
“什器”が読めなかった私が
ディスプレイのために準備したこと



店主のひとりごと

◇◇たけしげみゆき◇◇

シカクは千鳥橋という駅の最寄りにある。町は主に住宅地と地元住民向けの商店で構成されており、住民やその友人家族以外は基本的に用事のない町だ。電車のアクセスも、悪くはないが良くもない。なのでお客さんからはよく「このあたり、初めて来ました」と言われる。その次によく「なんでここでお店をしてるんですか？」と聞かれる。

なんでここでお店をしているか……。それは、私がタイムスリップして過去の自分に問いただしたいことナンバーワンだ。

初代店舗からの移転の経緯はnoteに書いたので割愛するが(気になる人はシカクのサイトからリンクで飛んでね)、当時の私は今よりイキった若造だったので、「アクセス悪くても関係ないっしょ！ 電車に乗ってでも来なくなる店を作れば無問題っしょ！」と思っていた。だがそれから早や6年、30歳を超えて落ち着きが出てきたり、コロナによる外出規制を経て、私はいま猛烈に「電車で行きやすい場所、羨ましい……」と思っている。仕事帰りやお出かけついでにふらっと立ち寄れるお店、羨ましい。今の店舗は平日に人が来すぎて「もしかして私以外の人類、全員ゾンビになった？」とよく不安に駆られる。

とはいえ千鳥橋にはいいところもある。下町っぽい雰囲気が好きな人は町歩きを楽しめるし、周辺にはおいしいお店も多い。地域としての魅力がさらに増せば、多少アクセスが悪くても人が来てくれるようになるかもしれない。……そう思いつつ地域イベントなどをするような社会性はないので、とりあえず地元のごはん屋さん顔を出して応援するだけの無力な日々である。

今月の売上ランキング1位は、ライターのさくらいみか氏がうまくいかない園芸体験を綴る『ダメな園芸』でした！ シカク代表も植物好きだけど枯らしちゃう人間なので、全ページ共感の嵐でした。

2位の『町山智浩とライムスター宇多丸は、映画語りをどう変えたのか？(前編)』は、映画通の間でかなり話題になっているようです。アトロクリスターなので中後編が気になる。

1位2位とも人気作品で、再入荷してはすぐに売り切れてしまうのですが、タイミングを見計らって購入してほしいです！

シカク月報がもらえるお店

(順不同、敬称略)

模索舎(東京)、BiblioMania(名古屋)、本屋B&B(東京)、ブックギャラリーポポタム(東京)、FOLK old bookstore(大阪)、古本屋貳拾dB(広島)、花森書林(神戸)、タコシエ(東京)、なんぼ紅鶴(大阪)、シネ・ヌーヴォ(大阪)、雑貨屋ミゲちゃん(大阪)、ホホ木座(京都)、ロフトプラスワンウエスト(大阪)、オソプランコ(大阪)、solaris(大阪)、誠光社(京都)、恵文社(京都)、(本)ぼんぼんぼん(大阪)、トランスポップギャラリー(京都)、マヤルカ古書店(京都)、OF(岡山)、ON READING(名古屋)、古本屋YOMS(香川)、古本ながいひる(岡山)、エフロノット(大阪)、opaltimes(大阪)、ンケリコ(大阪)、SOMA(大阪)、SPBS本店(東京)、1003(神戸)、TOKYO PIXEL(東京)、FAITH(東京)、画廊モモモグラ(大阪)、喫茶ペーパームーン(静岡)、旧グッゲンハイム邸(神戸)、フレームハウス(大阪)、ブックバーひつじが(福岡)

INFOMATION

〒554-0013 大阪府大阪市此花区梅香1-6-13
13時~19時
不定休(各種SNSなどでご確認ください)
※店舗の定休日はシカク出版へのお問い合わせも対応できかねますのでご注意ください。
shikaku@uguilab.com
http://uguilab.com/shikaku/(お店)
http://uguilab.com/publish/(出版)
n_SHIKAKU konohanashikaku

